

知床五湖登録引率者審査部会（第1回）議事メモ

実施日時：平成22年10月14日（木）17:30～19:45

会場：世界遺産センターレクチャールーム

出席者：葛西（知床財団）、鈴木・松田・若月（引率者代表）、梅沢（ウトロ自治会）、青木（観光協会）、山本（ガイド協議会）、野川（環境省）、大宮（北海道）、百々・岡田（斜里町）…11名

（1）登録引率者審査部会の進め方について

事務局より資料説明を行い次のことを確認、決定した。

- ・審査部会を協働の場とし、試験・養成等の事項決定後については構成員発議で会を運営することを確認した。
- ・部会での決定事項については協議会へ報告し、協議会にて異論が出た場合には部会にて再協議することとした。（協議会からの付託事項においても重要案件については協議会への確認を行う。）
- ・引率者からの意見を聴取する機会を部会主催で設けることができることとした。
- ・部会長には斜里町百々課長が選出され、会計については今年度は収支見込みがないことから保留とした。

（2）引率者登録試験について

事務局より資料説明を行い次の事を確認、決定した。

- ・試験のねらいについては選抜ではなく知識・技術の習熟度を測るものとする。
- ・試験の対象は、これまで研修・実験に参加した実験引率者（26名）とする。
- ・試験前に試験方法・審査箇所を説明する事前説明会を実施する。
- ・試験はペーパーテストと実地試験を行い、ペーパーテストを通過しなければ実地に進めないようにする。
- ・ペーパーテストでは知識、実地試験では技術を確認・審査できるよう整理する。
- ・ペーパーテストには、資料案の他、知床五湖の地理を問うもの、ヒグマの生態やクマスプレー、無線の知識を問うものを追加する。
- ・実地試験は、審査部会構成員、協議会構成員の手弁当で実施し、検定料を求めない。
- ・実地試験の検定員は中立的であり経験がある斜里町岡田氏、知床財団が勤める。
- ・実地試験の客役は、引率者で行うほか、協議会構成員へのボランティア参加も募る。
- ・試験の詳細項目は、事務局内で再度精査し19日の第2回審査部会で提示する。

（3）その他

次回審査部会は、10月19日（火）17:30～ 世界遺産センターレクチャールームで行う。